

名古屋外国語大学論集

第10号

特 集

名古屋外国語大学における アカデミック・スキルズ・プログラムの 現状と展望

The Current Situation and Future Direction of the Academic Skills Program at Nagoya University of Foreign Studies

名古屋外国語大学で1年次に実施されるアカデミック・スキルズ・プログラム(CASP)は、2020年度に新たに発足した教養教育推進センター(CLAD)の下で、ICTプログラム及び世界教養プログラムとともに、全学的に教養教育を充実させることを目的としている。CASPの大きな目標は、大学での学習に必要な基礎的技能を1年次のうちに身につけることを通して、学生に幅広い教養を自らの手で掴み取る能力を獲得させ、2年次以降の更なる専門的学習・研究に支障なく移行させることにある。

これまでのCASP科目は、名古屋外国語大学における初年次教育の一環として重視され、実施されてきたが、各学部・学科のディプロマ・ポリシーにより必要なスキルが異なるため、全学で同じ内容を提供しているわけではない。現状では、「外国語学部・世界教養学部」、「現代国際学部(現代英語学科・グローバルビジネス学科)」、「現代国際学部(国際教養学科)」、「世界共生学部」の4区分で、それぞれに合った形での講義運営が行われている。現在、CASP科目のさらなる充実を図るため、学部を横断する形でのカリキュラム改革についての議論が、CASP担当教員によって行われている。

本特集は、CLADの一部門として新たに位置づけられた名古屋外国語大学のCASP科目について、上記4区分の中でそれぞれの講義を担当する教員が、これまでの歩み、現状報告および今後の展望についてまとめたものである。

最後に、本特集を提案していただいた本学論集委員会と、本プログラムを日ごろから支えてくださっている先生方に、心からの感謝を申し上げます。